

## 2年生ブックトーク図書紹介

9月28日に、国語の単元「おてがみ」にあわせて、「アーノルド・ローベルのせかい」というテーマでブックトークをしました。がまくんとかえるくんのほかのおはなしをはじめ、ローベルの描く、動物が主人公のおはなしの本などを紹介しました。



『ふたりはともだち』 / 『ふたりはいつも』  
 『ふたりはいっしょ』 / 『ふたりはきょうも』  
 アーノルド・ローベル 作 / 三木 卓 訳  
 文化出版局

ちよっぴりものぐさながまくんと、ひとのよいかえるくんは友だちです。ゆっくりとした2人の日常、のんびりとユーモラスなやりとりを描いたシリーズ4冊は40年以上愛されています。お話はそれぞれ短いですが、笑いあり、涙ありで、友だちを思う気持ちについて考えさせられるところがたくさんあります。

今日は『ふたりはいっしょ』から「クッキー」を読み聞かせしました。

各ページイラスト付きで読みやすく、小学校低学年ごろの「ひとりで読書する本」としてもぴったりです。

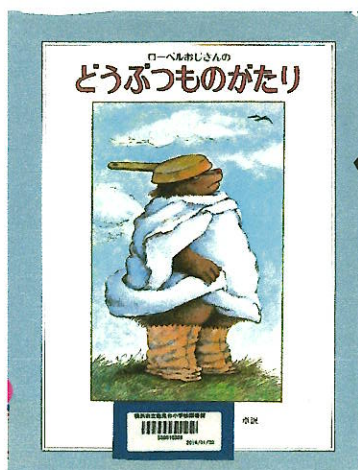
### 『ふくろうくん』

アーノルド・ローベル 作 / 三木 卓 訳 文化出版局

おひとよしでちよっぴりまがぬけているふくろうくん。ひとりで暮らしているふくろうくんの日常を描いた、ほのぼのとしたお話です。短いお話が5つ入っています。



学校図書館にある  
ローベルのほかの本



### 『ローベルおじさんの どうぶつものがたり』

アーノルド・ローベル 作 / 三木  
卓 訳 文化出版局

みひらき1ページにお話がひとつずつ載っています。20の動物が登場する寓話絵本。

お話の最後のローベルおじさんの一言がピリッときいています。ローベル版イソップといったところでしょうか。

1980年度コルデコット賞受賞

『ルシールはうま』

『どろんこぶた』

『とうさんおはなしして』

『おはなしばんざい』

『きりぎりすくん』

『ぼくのおじさん』



## 2年生ブックトーク図書紹介

9月24日に、国語の単元「どうぶつ園のじゅうい」にあわせて、「じゅういさんをもっとくわしく!」というテーマでブックトークをしました。獣医さんや動物園の飼育員さんたちのお仕事についての本、獣医さんが出てくるお話の本などを紹介しました。



### 『ニューワイド学研の図鑑 飼育と観察』

学研教育出版

動物のことを知るためには、実際に飼って観察してみるのが一番です。ですが、ペットを飼うことは「動物のいのちに責任をもつこと」でもあります。かわいがるだけでなく、その動物に対して正しい世話のしかたを知りましょう。虫・イヌ・ネコ・金魚などペットとして人気のあるものから動物園の大型動物まで、様々な動物の飼育について知ることができる図鑑。飼う時の注意や便利な豆知識がたくさん載っています。

### 『どうぶつ園のじゅうい』シリーズ 全3巻/金の星社

・びょうきやけがをなおすしごと / ・赤ちゃんをまもるしごと / ・せつめつからすくうしごと

動物園の獣医には色々な仕事があります。動物園の獣医の一日の仕事を紹介しながら様々な動物の治療や診察の様子を解説しているシリーズです。



### 『動物園のひみつ 展示の工夫から飼育員の仕事まで』

森由民 著/PHP 研究所

動物園について、みなさんはどのくらい知っていますか？

動物園にいる動物たち、そこで働く人たち、動物園で生まれる命について、外から見ただけではわからないひみつがたくさん！

この本を読んだ後に動物園に行ってみたら、きっと今までには気づかなかったたくさんのことが見えてきます！

### 『どうぶつ げんきにじゅういさん』

山本省三 作/講談社

街で動物病院を開業している獣医さんのお話。

みすず先生の一日を追いながら、獣医さんの仕事を紹介しています。



### 『めざせ！動物のお医者さん』

きむらゆういち作/講談社

「ぼく、先生みたいな動物のお医者さんになりたい！」獣医にあこがれる男の子と若い獣医師との交流。

お話を楽しみながら、獣医について知ることができます。

「動物が好き」という気持ちだけではどうにもならないきびしい現実も見えるちょっぴり切ないお話です。



### 番外編(大人も楽しめるまんが)



### 『動物のお医者さん』佐々木倫子作/白泉社

20年くらい前に白泉社の雑誌『花とゆめ』にて連載されたドクトルコメディ。(コミックス全12巻、文庫全8巻、愛蔵版全6巻 電子書籍でも読むことができます。)

「H大学獣医学部」を舞台に、獣医師を目指す学生の日常がコメディタッチで描かれています。作者の観察眼が、鋭く動物たちの姿をとらえています。